

7月～8月のりた（報告）

よりなん

7/18

サマースペシャル キッチン丸 with よりなん



子ども食堂を運営しているおいでんネットワークと協働し、大人と子どもが一緒に楽しめる体験型イベントを開催。子ども食堂の取り組みを参加者へPRする機会となりました。

やはぎかん

7/21

防災講座～女性のための防災のススメ～



地域の防災意識向上を目的とした講座。矢作東地区婦人自主防災クラブとともに災害時に女性が直面する課題について学んでもらう機会を提供しました。また、被災後の環境でも作ることが可能なポリ袋クッキング体験も行いました。

やはぎかん

7/25

親子であそぼう！子どもの国



幼稚教育の学びの場の提供や多世代交流、中高生のボランティアの受け皿作りを目的とした事業。多世代交流や遊びながらものづくりができる体験（計6ブース）を、学校や地域団体、市民活動団体と連携して提供しました。

なごみん

8/5

小学生のためのなごみんわくわく体験スクール



地域で活躍する個人・団体・事業者との協働企画。岩津城址の竹を使った工作やプログラミング体験、ポスター製作など（計5講座）を通じて、子どもたちに地域で活躍する方々を知ってもらう機会を創出しました。

9月～10月のりた（告知）※新型コロナウィルス感染症の拡大状況によって、開催を中止・延期にする場合があります。

9/12 日 むらさきかんまつり
2021～今、私たちで
きること。～



東部地域やむらさきかんを利用する団体の成果発表の場。写真、絵画、造形作品など、東部地域の魅力を発信する展示会を開催します。また、コロナ禍でも奮闘する団体の活動紹介展示も行います。

時 9:00～21:00

所 むらさきかん ￥ 無料

申 むらさきかんへ直接お越しください。

9/28(火)
～10/17(日) みんなのむつみ展

地域の魅力を再発見する機会として、みんなから六ツ美をテーマにした写真、絵ハガキ、陶芸などの作品を持ち寄っていただき、みんなで作品展をつくります。

時 9:00～21:00

所 悠紀の里 ギャラリー ￥ 無料

申 悠紀の里へお問い合わせください。
※作品募集は9/18まで（全展示スペースが埋まり次第、募集は終了）



お問合せ	よりなん	59-3600	むらさきかん	66-3066	市民活動センター	23-3114	
なごみん	66-8251	やはぎかん	33-3665	悠紀の里	57-5050	まち育て推進チーム	23-2888

まちのミカタ

Litaracy

2021.9 vol.111

発行・編集

特定非営利活動法人
岡崎まち育てセンター・Litaracy

〒444-0031 愛知県岡崎市梅園町3丁目6-6
TEL(0564)23-2888/FAX(0564)23-2898
<http://www.okazaki-lita.com/>
<https://www.facebook.com/okazaki.lita/>

配 布

岡崎市図書館交流プラザ・Libra／岡崎市内の地域交流センター
会員宛へ郵送 等 ※会員登録をご希望の方は左記までご連絡ください。

配布協力

岡崎市役所各支所／岡崎市各市民センター／シビックセンター／
FMおかざき／杉くんの駄菓子屋／angelshare／松應寺／cafeくらがり／

まちのミカタ

Litaracy ～りたらしい～

111
2021年9月

額田の森に思いをはせて「桜城橋ふき」（第4土曜）



おとがわリバークリーン（第2土曜）



ごまんぞく体操（毎週水・木曜）



籠田公園清掃（第2・4土曜）*写真は籠田公園2周年を祝う「ピカピカ☆deナイト」



写真：（株）カントリー・ラボ 宮崎道名氏

QURUWAの新しい日常 -QURUWAの変化を告げるまちの声-

特集

2015年に始まった乙川リバーフロント(RF)地区のまちづくり。2021年3月の中央緑道完成をもって、回遊動線QURUWA(*)がつながりました。今では、籠田公園、乙川河川緑地、桜城橋など、生まれ変わったQURUWAを舞台にして、「毎日どこかで何かがある」という状況が生まれています。

例えば乙川では第1・3土曜に新鮮野菜の朝市、第2土曜にリバーカリーン、第3日曜にヨガ、夏から秋にかけては第4土曜日の乙川ナイトマーケットなどが行われています。籠田公園では、第2・4土曜に清掃活動があり、ラジオ体操は毎日開催されています。特筆すべきは、乙川、籠田公園、桜城橋で市民有志により定期清掃が行われており、公共空間を使うだけ

なく手入れする活動が多いことです。りたは計画当初から市民参加の働きかけ、公共空間を使いこなす社会実験、各プロジェクトの情報発信・啓発など、多岐にわたり携わっていますが(**)、ここ1、2年の変化には目を見張るものがあります。

本号では、今年の2月20日に開催された「QURUWAシンポジウム」の一環で取材、紹介した内容を抜粋して、QURUWAの変化には、どのような人が関わっているのか、またまちに暮らす人はどう感じているのかという視点から、「QURUWAの新しい日常」を紹介します。

*QURUWA…乙川河川緑地、桜城橋、中央緑道、籠田公園、りぶら、岡崎公園と名鉄東岡崎駅をつなぐ約3kmの主要回遊動線。

**本誌76、82、84、89、90、96、97、101、103、108号参照。

